

安居地区の誇り

未来へ伝えよう歴史・文化・自然

5月下旬から約1か月間、集落に沿うように流れる未更毛川にゲンジボタルが飛ぶ。全長約6kmのうち2kmほどの川面を乱舞する様子は新聞に度々掲載され、地区内外を問わず県外からも見物人が訪れるようになった。平成16年の福井豪雨や、その後の土地改良工事による影響を受けたものの、環境講座として開設された安居の里を守る会が中心となり、ホタル保全活動を行った結果、現在は出現期間中の最盛期で2,700頭を数えるまでになった。自治連合会やまちづくり組織も川の清掃などに努め、小中学生を巻き込んだ活動が継続されている。



公民館には、住民から提供された農機具や生活道具、貝塚や古墳からの出土品を展示した郷土資料室が設けられている。現在は、安居中学校生徒制作のジオラマが展示されるとともに、白を活用した椅子とテーブルも置かれ憩いの場となっている。



当地区には県域絶滅危惧Ⅰ類に指定されているミズアオイが自生しており、安居壮年会が中心となって種の採取、育苗、定植活動を行った結果、現在では地区内3カ所に7月から10月初旬まで、青い花を咲かせ住民の目を楽しませている。



安居公民館 館長 皆川 潔さん

平成10年から安居公民館主事、平成19年に館長となり現在に至る。前職である警察官としての粘り強さを活かした事業推進と公民館運営により、住民からの信頼も厚く、学校や団体との連携を強化した。

安居公民館

住 所／福井市本堂町7-4
電 話／0776-37-1234
交通機関／京福バス「本堂」バス停
から徒歩3分